

2014 CSR報告書 カンボプラス

CSR : Corporate Social Responsibility



新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりに貢献します。





CONTENTS

トップメッセージ	2
社会とのかかわり	3
環境とのかかわり	5
その他のかかわり	8
CSR自己評価	裏表紙

カンボウプラスの概要

代 表 者	代表取締役社長 太田克則
設 立	1939年3月24日
資 本 金	10億2,030万円
決 算 月	3月
従 業 員	170人
主 要 事 業	1. ファイバー（繊維）とプラスチック（樹脂）の複合化によるキャンバスの製造と販売 2. キャンバスをデザイン・設計・縫製した商品の販売 3. 一級建築士事務所 建築物・工作物の設計・施工
事 業 所	本社、東京支店、福井工場
外 部 認 証	福井工場 ISO9001、ISO14001

環境変化への対応と新たな価値の創造

「カンボウプラスは新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりに貢献します。」を、企業理念に掲げて企業活動を行っています。当社は今年で創業75周年を迎えました。当社を取り巻くすべてのステークホルダーの皆様のおかげと、感謝しております。

先人たちが培ってきた伝統とお客様からの信頼を大切に引き継ぎ、社会に新たな価値を提供し続けることが、私たちの使命と考えております。

《2013年度を振り返って》

昨年は政局の混迷から始まり、先行きに不安を抱えたスタートとなりました。

政権交代後のアベノミクス効果により株高・円安が進み、日本経済が活性化の方向に進みました。輸出企業にとっては追い風となり、大幅な業績回復を果たした企業がたくさんあります。当社の業績も回復し、お客様に安心し、信頼していただけたところまでできました。

ご愛顧いただいたお客様のおかげと感謝しております。

反面、石油関連の原材料を使用している当社は、円安による原材料の高騰・消費税増税が逆風となり、苦しい面も出てきております。

国外では中国との尖閣諸島問題・韓国との竹島問題・世界中で起こっている異常気象現象・根の深い国際紛争（国内紛争）等、企業を取り巻く環境に変化が起っており、世界中がざわついていると思うのは私だけでしょうか？ これら変化への対応を図りながら、お客様の要望に応えていきたいと考えております。

《事業継続と迅速な変化への対応》

変化の激しい事業環境や社会の中で、当社が継続して発展していくためには、市場の変化、技術革新の動向、お客様の変化に迅速に対応するスピードを持って、新しい価値を創造することが大切であると考えています。

どのような環境においても、当社の特色を生かした技術・経営スタイルで製品開発やサービスを提供していくことが、企業価値の向上につながると考えています。

ステークホルダーの皆様には信頼して頂けるよう、努力してまいります。

ここにお届けする「2014CSR報告書」は、当社が2013年度に取り組んだCSR活動の内容をステークホルダーの皆様にご紹介するものです。お手数ですが、皆様の忌憚のないご意見をいただければ幸いです。



代表取締役社長 太田克則

当社商品のご紹介

宣集楽サウンドサイネージ

指向性・遠達性のあるTLFスピーカーを採用。音で集客する新サイネージ。バナーだけでも目立ちますが、耳元まで届く音がより注目度を高めました。

「サウンドサイネージ」は、ヤマハ株式会社の商標です。

バナースタンドタイプ 本体（型番：SB-01）

【規格サイズ】

装置寸法 W926×H2100mm

表示幕サイズ W910×H1950mm

スタンドタンク W450×D250mm

（注水式。約9ℓで満水）

表示幕は
何度でも
交換可能



協力：株式会社サンフレッチェ広島



ダイナスターシリーズ

光触媒を採用した高品質幕材料

酸化チタン光触媒により表面層を分解し、汚れも共に除去します。

ダイナスター（テント倉庫用）

- ・国土交通大臣認定番号（建築材料の品質）：MMEM-0027

- ・国土交通大臣認定番号（防火認定）：UW-9017

ダイナスターC200（C種膜材料）

- ・国土交通大臣認定番号（建築材料の品質）：MMEM-0039

- ・国土交通大臣認定番号（防火認定）：DW-0109

ダイナスターB300（B種膜材料）

- ・国土交通大臣認定番号（建築材料の品質）：MMEM-0033

- ・国土交通大臣認定番号（不燃認定）：NM-2577

インテックス大阪



アクアマイスター

折畳み式簡易水槽

子供用プール、防災・災害用、水産業・農業・工業などに。
軽量化、設営のしやすさにこだわっています。

【規格サイズ】

6角型（1,300L） 対角1,600×対面1,390×高さ800mm

8角型（2,450L） 対角2,090×対面1,930×高さ800mm

10角型（3,900L） 対角2,590×対面2,460×高さ800mm

【主材料】

PVCターポリン、EVAターポリンの2種からお選びいただけます。

水遊び用プール



バオウ

高性能大型土のう（3年タイプ）

河川、道路工事や災害復旧時などの仮設材料に適用します。

吊り下げ材耐候試験1,500時間で強度保持率97%!

【規格サイズ】

φ1,100×1,100mm 容量1㎡

北上川下流



品質管理にかかわるトピックス

①品質方針

これまでも増して工場の全従業員が一丸となって、お客様満足度の向上とあらゆる場面での法令遵守に努めることをより明確にするために、品質方針が改訂されました。

福井工場は、全員の責任と役割を明確にし、お客様の満足度向上に努める。

福井工場は、法令を遵守し、社会的規範となる。

福井工場は、設定した品質目標を達成させ、かつ継続的に改善する。

福井工場は、品質マネジメントシステムの有効性を定期的に見直す。

改定：2013年12月1日

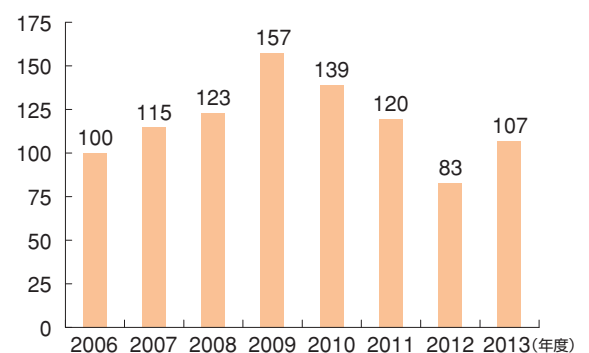
②苦情発生状況

半期毎に見ると、苦情件数は2012年度上期を最小に、その後増加の傾向となっています。お客様の要望に合ったより良い製品を提供するため、設計の見直し・変更を進めており、従来品より性能が改善されてきています。

また、苦情の約半数は当社での是正処置が必要なものでした。検査精度をアップして、流出防止を図る必要があります。生産ライン・検査ラインへの自動欠点検出システムの設置・増設をさらに進める計画となっています。苦情に対する報告は、前年比で約2日短縮されました。

苦情発生件数推移

(注) 2006年度を100とした場合の指数表示となっています。



③不良品発生状況

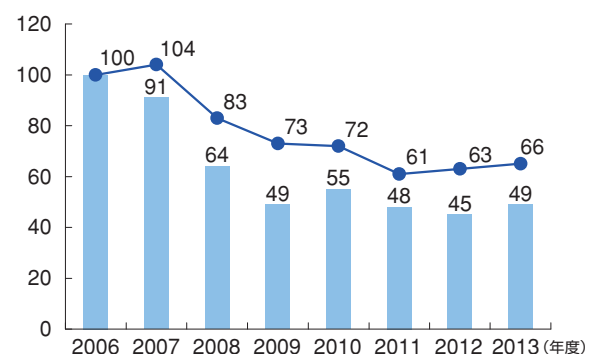
加工条件の徹底的な見直し、作業要領の改善、確実な工程内検査の実施により着実に減少していた不良品発生件数ですが、直近3年はほぼ横ばいの傾向にあります。

工程内での異物付着や精度不足によるシワ不良といった内容が多い結果でした。

当社の製品をお客様に安心してご使用していただけるよう、さらに改善を進めます。

不良品 不良品発生率

(注) 2006年度を100とした場合の指数表示となっています。



地域社会に対する取り組み

地域の美化運動として月1回の各事業所周辺の清掃活動を2008年より開始し、5年間継続されています。2013年度は、年間延べ211名が参加しました。

環境方針

当社は、地球環境と自然保全に努め、より安全な製品を提供し続けて『環境のカンボウ』を目指します。

『環境基本方針』

当社は産業資材、工業資材、生活資材及びその他の樹脂加工繊維製品の生産を中心とした企業活動において、環境負荷の低減を目指し、以下の方針に則って行動します。

- 1 当社は、地域社会と協調し、対話を大切にし、環境管理活動を通じて社会に貢献します。
 - 2 当社の事業活動において、省資源、廃棄物の削減、環境負荷物質の管理を行い、汚染の予防を含めた、より良い環境の維持、向上に取り組みます。
 - 3 定期的な内部環境監査の実施により、環境管理活動の実施状況と結果を確認し、環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
 - 4 当社の事業活動に関係する環境関連法規制及びその他の要求事項を遵守します。
 - 5 当社の事業活動にかかわる環境側面について、環境目的及び目標を設定します。また、環境目的及び目標は、環境方針と共に、年一回見直しを行います。
 - 6 環境方針は、環境方針書として文書化し、環境マネジメントシステムにより実行、維持します。
 - 7 環境方針は、全従業員に周知認識し、方針に則って行動するように、全従業員に対する教育、訓練を実施します。
- 本環境方針は、社外からの要求、その他必要に応じて公表します。

改定 2008年4月1日

事業活動における環境負荷(福井工場)



地球温暖化防止への取り組み

モーダルシフトによるCO₂排出量の削減を積極的に進めています。

2013年はモーダルシフトにより年間217トンのCO₂を削減しました。

モーダルシフトによるCO₂削減実績は、3年連続で200トンを超えることができました。

また、クールビズ期間の設定やノーマイカー運動、エコキャップ活動など温暖化防止への取り組みを継続しています。

生産量あたりのエネルギー消費量とCO₂排出量

2013年度の生産量あたりのエネルギー消費量は、10年前の2003年度と比較して微増、2012年度と比較して微減という結果でした（各指標は各年度別の実数を生産量（km）あたりに換算したデータです）。

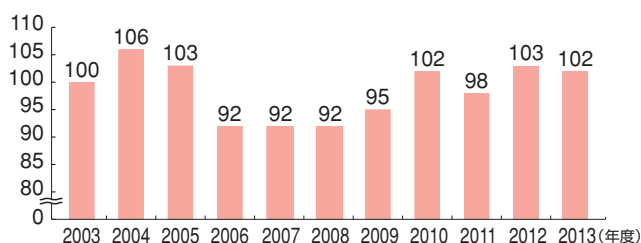
原油換算消費量は2003年度対比でほぼ同じ数値。それに対する生産数量は1%ほど多く、いくらか効率化されているものの、さらなる改善が必要です。CO₂排出量も2003年度対比で約10%増加でした。

2012年に実施した脱臭設備更新の効果によりLPGの消費量は約10%削減できました。しかし、冬場は設備の故障が多く、電力、重油消費量が増え、トータルエネルギー消費量は、前年度比でほぼ横ばいとなりました。

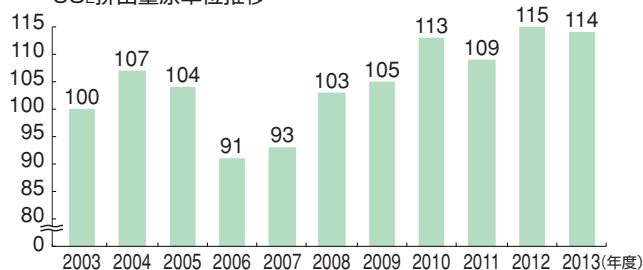
今後、設備の改善を進めていく計画となっています。

※2012年度の換算値に誤りがあり修正しました。

エネルギー消費量原単位推移



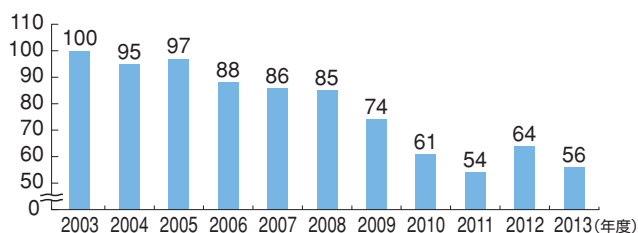
CO₂排出量原単位推移



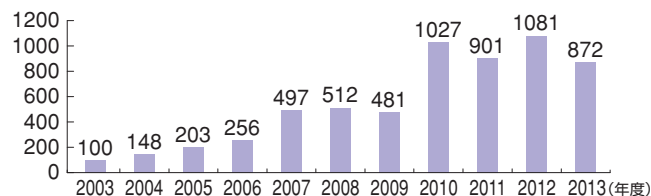
廃棄物削減への取り組み

2010年度にリサイクル・リユース量を拡大し、2003年度比約40%減を達成しましたが、その後足踏み状態が続いています。さらなる改善策を検討、廃棄物削減を進めていきます。

最終処分量推移



リサイクル・リユース量推移



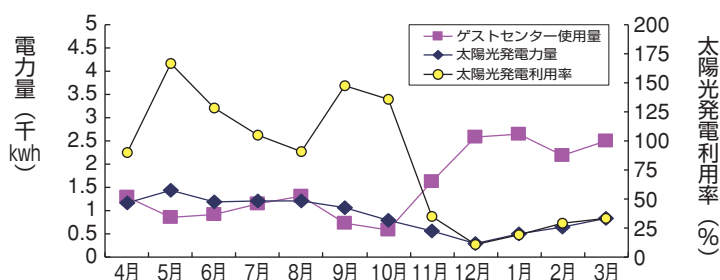
環境負荷物質低減製品開発

塩ビ製品の安全性が再認識される中、さらに安全性を高める塩ビ配合の開発を進めています。また、各種有機溶剤の使用についても、低減する方向で改良を進めています。

福井工場の太陽光発電状況

2011年よりゲストセンター屋上に10kwhの太陽光発電設備を設置しておりますが、太陽光発電量の年間総量は約11,000kWhとなっています。4～10月の期間は、ゲストセンターでの電力使用量はほとんど太陽光発電分で賄われています（平均で約120%）。11～3月の冬場は発電量の低下と使用量の増加により、太陽光発電利用率は26%程度にとどまっています。

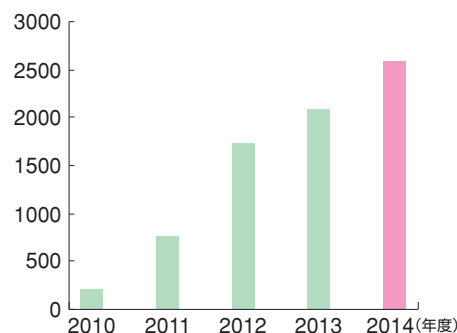
福井工場の太陽光発電状況（2013年度）



電子帳票、電子データ化

製品品質にかかわるデータ・記録などを電子データ化し、2010年より電子記録図書館として社内公開を進めています。製品安全シート、環境負荷物質含有調査結果、製品検査規格、納入仕様書、各種試験結果、議事録など、2013年度末のデータ件数は2,000件を超えています。お客様へのサービスツールの一つとして製販で広く活用が進められています。2014年度末のデータ件数2,500件以上の目標に向かって、日々データが集積されています。

品質アーカイブデータ件数

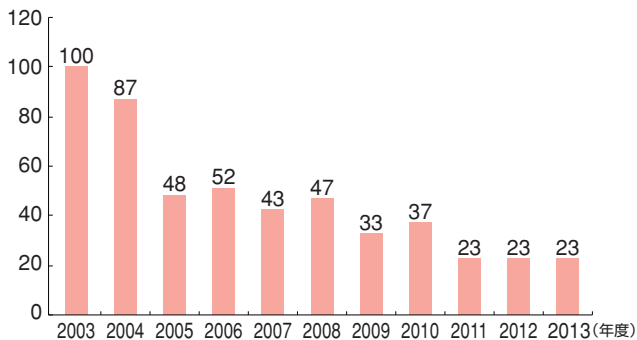


PRTR法への対応

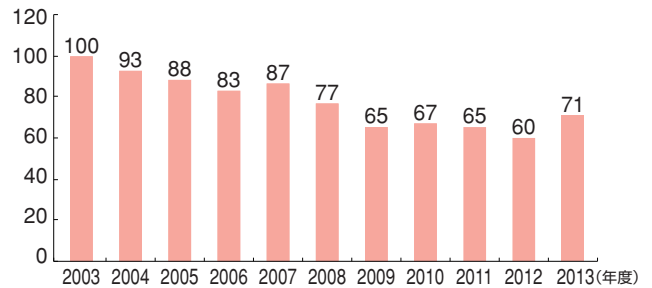
2013年度の生産数量は、対前年度比で約6.6%増加となり取扱量はやや増加しましたが、排出量は横ばいにとどまり、移動量は削減となりました。

各指数は2003年度の量（トン）を100とした場合の指数です。

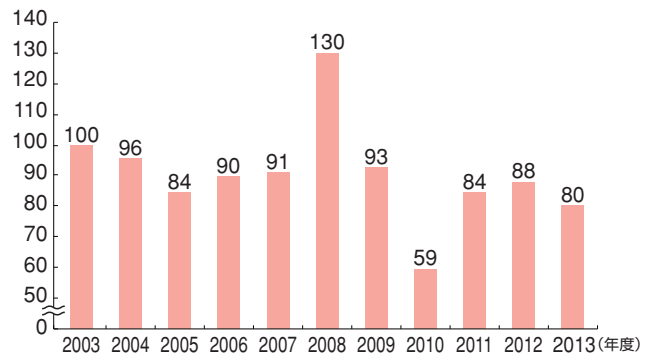
PRTR法対象物質排出量推移



PRTR法対象物質取扱量推移



PRTR法対象物質移動量推移



グリーン推進活動

グリーン推進委員会は、弊社の事業活動による環境負荷を低減させるために役員会で選任・委嘱された各部門の代表者7名で構成され、監査役をアドバイザーとして全社の環境負荷物質排出低減対策や社会貢献活動の推進とそれらの啓蒙を推進しています。

グリーン推進委員会で定めた各部門のグリーン推進活動計画に基づき、全社的な環境負荷低減活動を行っています。

【主な活動内容】

- 環境影響軽減に関する教育・啓蒙
- ノーマイカー活動
- エコキャップ活動への参加（2013年度実績は約12kgで6人分のワクチン費用に相当）
- 製品の出荷を積極的にトラック輸送から鉄道輸送にすること（モーダルシフト）によるCO₂削減
(2013年度実績はCO₂削減量が約217tに相当)
- 廃棄物削減活動
- 節電・省エネの実施徹底によるエネルギー使用量削減活動

従業員への教育

自然災害やその他の危機が発生した際、当社の重要な業務が中断しないこと、または短時間で復旧ができることを目的として、「事業継続」を重点課題とし社内・社外の教育の充実に取り組んでまいりました。今後も従業員教育を充実し、CSRの推進に取り組んでまいります。

(実施した研修)

実施日	研修名	研修内容
2013年 4月	新入社員研修	新・社会人ビジネスマナー基礎研修
	新入社員研修	社外安全講習、パソコン講習等
	管理職研修	企業防災と事業継続
2013年 6月	カンボウカレッジ	確定拠出年金(401K)投資教育
2013年 7月	営業職研修	内部統制について
2013年 8月	中級職研修	若手・中堅社員・若手リーダーの役割と後輩指導
	監督職研修	メンタルヘルス研修
2013年 9月	カンボウカレッジ	人と防災未来センター見学
2013年10月	管理職研修	メンタルヘルス研修(ラインケアについて)
2013年11月	技術職研修	フィルムメーカー視察
2013年12月	事務職研修	内部統制について
	営業職研修	時間に振り回されないタイムマネジメント
2014年 2月	昇級者研修	監督職の役割・CSRとメンタルヘルスについて
	新入社員フォローアップ研修	「仕事の基本、職場のルール」と「メンタルヘルス」について
2014年 3月	考課者訓練	考課者の目線合わせ、レベルアップ(各事業所)
	製造職研修	危険予知を高めあう

(監督職研修)

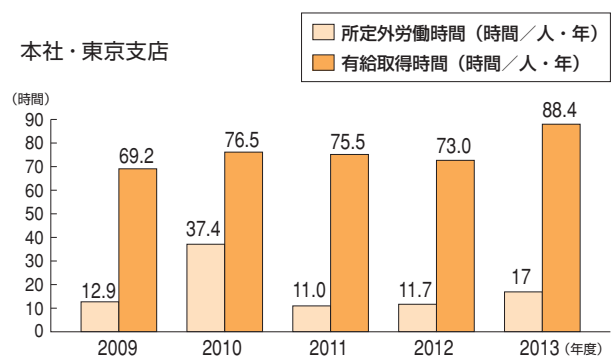
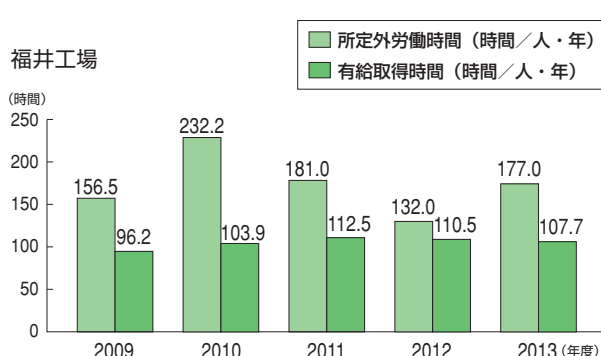


(事務職研修)



ワークライフバランス

仕事と生活の調和（ワークライフバランス）を目的に、所定外労働時間の削減、ノー残業デー（オール定時）の設定、誕生日有給休暇、一斉有給休暇の取得に取り組んでおります。



労働安全衛生

①教育・研修実施状況

従業員の安全と健康を守るため、職場での研修や教育を実施してまいりました。また、安全衛生パトロールや安全衛生委員会を労使合同で実施いたしました。

主な活動	事業所
安全衛生管理活動計画表(平成26年度)提出	本社・東京・福井工場
安全衛生委員会の定期開催(労使合同)	本社・東京・福井工場
安全衛生パトロールの定期実施と是正	本社・東京・福井工場
新入社員への安全衛生教育の実施	本社・東京・福井工場
定期健診(1回/年)、生活習慣病予防検診、健康相談会の実施	本社・東京・福井工場
うがい薬・消毒薬の設置	本社・東京・福井工場
作業環境測定	本社・東京・福井工場
メンタルヘルスについて研修の実施(外部講師)	本社・東京・福井工場
安全衛生について研修の実施(外部講師)	福井工場
特殊健康診断(2回/年)	福井工場
冬用タイヤ装着確認	福井工場

②労働災害事故発生状況

2013年度は福井工場において重大な労働災害の発生があり、関係する方々にはご心配とご迷惑をおかけしました。

KYTやリスクアセスメントの推進、安全作業標準の見直し、安全教育のさらなる充実等、職場の安全対策を積極的に推進し、労働災害の撲滅を図ってまいります。

休業労働災害発生件数

2009年度	1件
2010年度	1件
2011年度	0件
2012年度	0件
2013年度	2件

③作業環境改善状況

福井工場では、有機溶剤を取り扱う作業場の有機溶剤濃度を年2回測定し、作業環境の点検を実施しています。2月の測定結果では全ての作業場が適切な状態と評価され、作業環境の改善が進んでいることが確認されました。

緊急事態への備え

①消火操法訓練状況

福井工場では、火災発生時の消火訓練を兼ねて消火操法大会を開催し、消火技術の向上に取り組んでいます。成績優秀チームは鯖江市の消火操法大会に出場しました。

社内：屋外消火栓の部



社内：消火器の部



社内：バケツの部

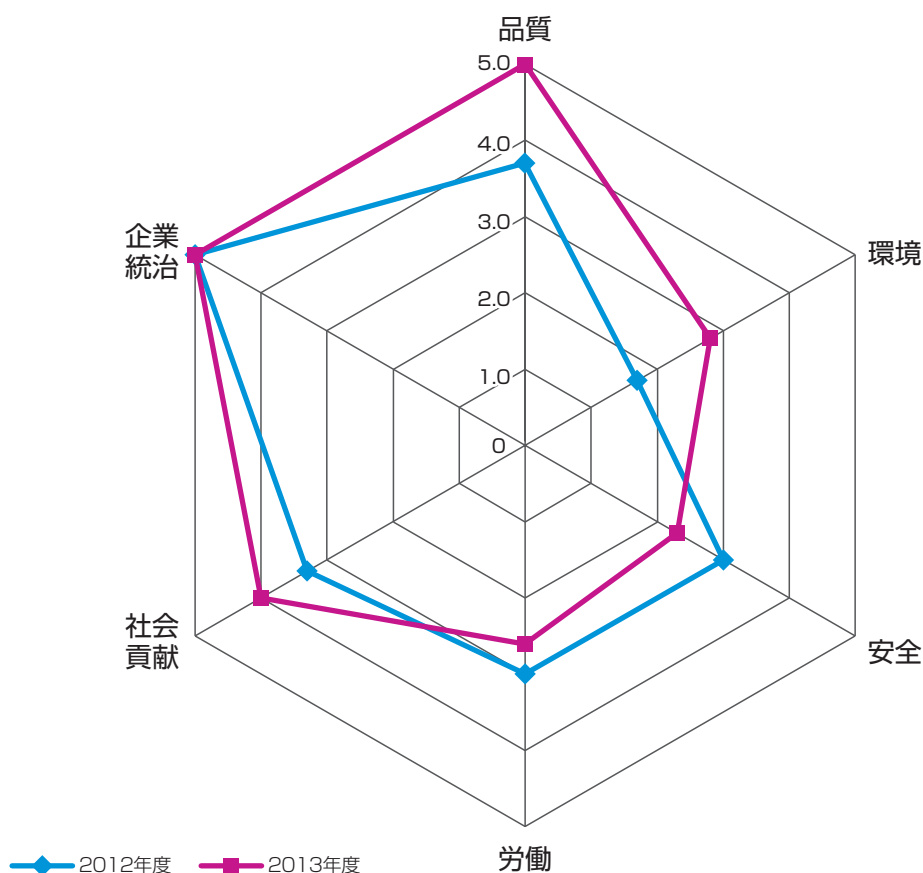


②事業継続計画(BCP: Business Continuity Plan)作成の取り組み

2011年度版『CSR報告書』のトップメッセージを受け、事業管理部でBCP作成について取り組みを始めましたが、全社的にこれを推進するために2013年4月に管理職を対象に「企業防災と事業継続」というテーマで研修会を開催し、事業継続マネジメントの必要性の再認識、基本的事項の理解を深めました。

2014年度はより具体的な計画書を作成し、実践していくために「BCP作成プロジェクト」を発足させ、本社、東京支店、福井工場の各拠点での初動・復旧対応手順書の作成に取り組む計画となっています。

CSR自己評価



	2012年度	2013年度
品 質	3.7	5.0
環 境	1.7	2.8
安 全	3.0	2.3
労 働	3.0	2.7
社会貢献	3.3	4.0
企業統治	5.0	5.0

労働に関する項目以外は、2012年度と比較して維持・改善されています。
3点を下回っている環境・安全・労働に関連する項目の改善を図る必要があります。